学校番号	3010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 標準文学国語(第一学習社)						
副教材等	新訂版常用国語便覧（浜島書店）・〈五訂版〉漢字検定 5～2 級対応　常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な文学作品を通して登場人物の心情や作品の意図を読み取る。ただ内容を理解するだけではなく、自分の考えや意見などを文章にまとめ、クラスメイトとグループワークを通して意見交換を行う。人の意見を聞くことで視野を広げ、さらに深い作品理解へとつなげていく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」､「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	・「るみ子さん」の気持ちが変化する過程を、彼女の身の上に起こった出来事を通して読み取る。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ［教材］ 調律師のるみ子さん	a:文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b[読]:品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 c:老人が「るみ子さん」の調律に求めていたことについて、積極的に自分の考えをまとめて示そうとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ［教材］ デューク	a:文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b[読]:内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c:「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解する。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 ［教材］ 生命は	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。 c:繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・比喩の構造や視点の転換を考察し、題名を意識しながら詩が提示するメッセージを考える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b[書]:比喩の構造や視点の転換を考察し、題名を意識しながら詩が提示するメッセージを考える。 c:繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

	踏まえて解釈を深める姿勢を養う。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ［教材］ 食事				
	・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について 考察する姿勢を養う。 ［教材］ ナイン	a:文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b[書]:登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。 c:小説における「わたし」の役割や、他の登場人物にとって「わたし」がどのような存在であるかについて、積極的に自分の考えをまとめようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
2	・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ［教材］ 鼻	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 c:内供を取り巻く人々の心理や態度を積極的に読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ［教材］ こころ	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b[読]:物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 c:場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

	などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 ［教材］ わたしが一番きれいだったとき	c:象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。			
	・清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ［教材］ 清兵衛と瓢箪	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[書]:内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c:当時の物価を積極的に調べたうえで、瓢箪の価格がどんどん上がっていくことの意味について、自分の考えをまとめようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
3	・詩の中の自然に描かれ方に注目し、「いもうと」と「わたくし」それぞれの心情を想像しながら味わう。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ［教材］ 永訣の朝	a:文学的な文章の種類や特徴について理解を深める. b[書]:内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 c:象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　75　）時間